

買うだけでは野菜が足りないので、自分でも種を植えてみました。畑には、綺麗な蝶々や、かわいいミツバチ達がやって来て、美しい畑になっていきました。そして、力強く生きる野菜達を見ているうちに、心のモヤモヤも晴れるようでした。



ある日、男が畑に来ました。

「なんだこれは！なんて美しい畑なんだ！

こんなに素晴らしい畑の野菜を食べていたのか。

今までの私は、本物のワイルドじゃなかったかもしれない…

私は何と愚かな事をしてしまったんだろう…」

なんと、男はおいしい野菜を食べているうちに、優しい気持ちを取り戻していたのです！

そして、男も協力して一緒に畑をやりながら、子供を看病し続けると、ついに不治の病が治ったのです！

子供は言いました。

「やっとわかってくれたんだね。ありがとう。」

二人は、一晩中泣きました。

そして、お父さんは言いました。

「もう、こんな病気になる子を増やしちゃいけない！」

二人は全財産を使い、本当に安全な、核の最終処分場を作ろうと決心しました。

